

大分工業高等専門学校 情報工学科 3 年

## Typst のテンプレート

30 番 引田 鴻志 (s2233)

2024 年 12 月 23 日 提出

# 目次

1. 目的 .....	2
2. 各種機能の扱い方 .....	2
2.1. インラインコード .....	2
2.2. リスト .....	2
2.3. 画像 .....	2
2.4. 数式 .....	2
3. まとめ .....	3

## 1. 目的

この Typst ファイルは、Typst でレポート作成を行う場合のテンプレートである。

## 2. 各種機能の扱い方

### 2.1. インラインコード

インラインコードは ``code`` `code` で呼び出せる（関数 `raw()` の糖衣構文）。

### 2.2. リスト

リストは `list()` 関数を用いる（リスト 2.1）。リスト番号は `#table_num(0)` 2.1 で参照できる。

リスト 2.1 リストと `read()`, `list()` の例

```
#list(  
  raw(read("./files/include.txt")),  
  caption: "リストと read(), list() の例"  
)
```

### 2.3. 画像

図はこのように、`img()` 関数を用いる（図 2.1）。番号を参照するには `#image_num(0)` 2.1 を用いる。

```
図はこのように、`img()` 関数を用いる（図#image_num(0)）。番号を参照するには`#image_num(0)`  
#image_num(0)を用いる。  
#img(  
  image("./files/screenshot.png"),  
  caption: "画像の読み込み例"  
)
```

図 2.1 画像の読み込み例

### 2.4. 数式

数式は `$ $` で囲う。数式は独自の Typst 記法を用いる。例えば

```
$ f'(a) = \lim_{h \rightarrow 0} ((f(a + h) - f(a)) / h) $
```

$$f'(a) = \lim_{h \rightarrow 0} \left( \frac{f(a + h) - f(a)}{h} \right)$$

```
$ \int_a^b f(x) dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{i=1}^n f(x_i) \Delta x $
```

$$\int_a^b f(x) dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{i=1}^n f(x_i) \Delta x$$

である。インライン数式は単に `$e^{i \pi} + 1 = 0$`  `$e^{i\pi} + 1 = 0$`  のように、`$` の前後に空白を開けなければよい。

### 3. まとめ

Typst はコンパイルが高速! Typst は記述量が少ない! パッケージで悩むことがない! 環境構築は `sudo snap install typst` (\*unix 系の場合)だけ, 楽ちん楽ちん♪

その他, 使い方に困ったら, 公式ドキュメント (英語) を読みましょう. とても詳細かつわかりやすく書いてあります.